４年生　資源循環局　出前授業

７月から社会科の「健康なくらしとまちづくり」の単元で、ごみを題材にして学習を進めてきました。その中で「ごみがどのように処理・リサイクルされているのか調べよう」というめあてをもって学習に取り組みました。その中で、実際にごみ焼却工場の人の話が聞きたいという思いが生まれたため、今回の出前授業が実現しました。

子どもたちは、資料ではわからなかったことを、動画や資源循環局の方の話から理解したり、国語の学習を生かして、必要なことをメモにまとめたりしました。

終わった後には、

・分別に気をつけようと思った。
・自分たちの資料に載っていること以外のことも話してくれてうれしかった。
・２４時間ごみを処理し続けているとは知らなかった。
・ごみ収集車の中で火事が起きることがあるとは思わなかった。
・資料だけではわからなかった、ごみピットなどの機械の役割がわかった。
・焼却工場の中の様子や機械についてよくわかった。

など、子どもたちはたくさん感想を話していました。そこで働く人たちの思いや大変さにふれることができたのも、貴重な経験になったと思います。